

一 般 質 問 要 旨

(令和8年8月31日・9月1日)

(質 問 順 序)

- | | | | | |
|----|-----|-----|----|-------------|
| 1 | 花 岡 | 有 一 | 議員 | (令 和 会) |
| 2 | 工 藤 | 賢 一 | 議員 | (市 民 の 風) |
| 3 | 佐々木 | 公 司 | 議員 | (令 和 会) |
| 4 | 今 泉 | まき子 | 議員 | (日 本 共 産 党) |
| 5 | 吉 原 | 正 | 議員 | (市 民 の 風) |
| 6 | 武 田 | 晋 | 議員 | (令 和 会) |
| 7 | 吉 田 | 勇一郎 | 議員 | (令 和 会) |
| 8 | 花 田 | 強 | 議員 | (市 民 の 風) |
| 9 | 佐 藤 | 和 幸 | 議員 | (真 政 会) |
| 10 | 相 馬 | エミ子 | 議員 | (市 民 の 風) |
| 11 | 伊 藤 | 励 | 議員 | (市 民 の 風) |
| 12 | 田 村 | 儀 光 | 議員 | (真 政 会) |
| 13 | 伊 藤 | 深 雪 | 議員 | (公 明 党) |
| 14 | 菅 原 | 喜 博 | 議員 | (令 和 会) |
| 15 | 石 垣 | 博 隆 | 議員 | (真 政 会) |

○ 花 岡 有 一 議員（令和会）

- ・ 公共施設のW i - F i 環境の整備と充実について
- ・ 本庁舎や総合支所のように、中央公民館や各地区の公民館、そして特に市立総合病院の各病棟や病室で、どこでもW i - F i に自由に接続できるようにしてはどうか

○ 工 藤 賢 一 議員 （市 民 の 風）

1. 所得連動給付の導入に向けた対応について

- (1) 導入に当たっての財政負担と事務負担の見通しについて、市長の考えは
- (2) 今秋の臨時国会の動向を踏まえながらの厳しい予算編成になるものと想定するが、今後の作業スケジュールや市民への周知、実施体制の構築に向けた現時点での市長の考えを伺う

2. 大館能代空港の特定利用空港指定に関する大館市の対応について

- ・ 米軍機による過去の比内地鶏圧死事案を明示し、指定の判断は慎重に行うよう県に働きかけるべき

3. 県より示された大館橋撤去検討案について

- (1) 県による唐突な公表に対する市長の認識と事前協議の有無について伺う
- (2) 御成町南地区土地区画整理事業と投資効果への影響・損失について、市長の評価は
- (3) 市民生活、地域経済、伝統文化への影響について、市長の認識は

○ 佐々木 公 司 議員 (令 和 会)

1. 市長になって間もなく2年が経過する。現在の本市の最大の課題は何であると捉えているか

- ・ 石田市長が最もやりたいこと、また、やらねばならないことは何か

2. 複合機能を持ち、人を呼び込める道の駅設置の考えは

3. 高齢化社会における住みよい大館市づくりは現在どの程度のレベルとなっているか

(1) 共生社会の中で豊かに生きていく地域社会の仕組みづくりについて

(2) 認知症になっても住みよい大館とは

4. 移住・定住、二地域居住促進への取組は

- ・ 人気の移住先として群馬県が挙げられていたが、本市は何をアピールするのか

5. 省エネ推進・温暖化防止の本市の取組は

6. とも家事についての周知と今後の推進について

○ 今 泉 まき子 議員 （日本共産党）

1. エアコン購入費用の助成を

- ・ 夏場にエアコン設置についての相談を受けている実態はあるか。高齢者の住民税非課税世帯を対象としてエアコンの購入費用を助成すべきと考えるが、市の考えは

2. プールでの児童のけがについて

- ・ 児童・生徒の安全を第一に考え、実害が発生する前に教育設備の点検・修繕をすべき

3. 災害関連死を防ぐため、災害対応の充実を

- (1) 在宅や車中泊など、指定避難所以外で避難している方の把握と支援体制について
- (2) 今年度の要支援者の個別避難計画策定数の目標は。また、関係者や町内会との定期的な情報共有も必要ではないか
- (3) 避難所の備蓄食料品はアレルギーのある方等へも対応できるよう準備されているか

4. 空き家対策について

- (1) 大館市空家等対策計画策定後の空き家数の増減や利活用の状況は
- (2) 危険度の高いA・B判定の空き家の対策推進を

○ 吉 原 正 議員 (市 民 の 風)

1. 農家の持続可能な経営のための米政策の実現に向けて

- (1) 令和8年産米の概算金下落している。米産地の市長として、この状況をどう考えているか
- (2) 米の価格は市場の需給状況で形成される。農家の安定的かつ継続的な経営を考えたとき、コスト割れに対して直接支払い等の制度をつくるべきであり、国に強く要請すべきと考えるが、市長の見解は
- (3) 米の需要拡大の一環として海外への輸出が論じられているが、本市における6年、7年の実績、また8年の取組と課題について伺う
- (4) 小規模農家対策の補助金の8年度の状況について伺う

1. 市長の政治姿勢について

- (1) 道の駅新設の考えはあるのか
- (2) 北前船交流拡大機構への対応は
- (3) 「市長と話そう」で出た課題をどのように政策に生かすのか
- (4) 行政のネットワークから孤立していないか。政治で重要な時と場所を生かしていない

2. 小学校の統合・再編方針について

- (1) 文部科学省が策定した公立小学校・中学校の適正規模・適正配置等に関する手引によると、地域のビジョンを描きデータに基づく検討をするとあるが、各地域の教育ビジョンを描いているのか
- (2) 現在までの説明会の総括として、どのような問題点が指摘されたのか
- (3) 3中学校区以外の小学校の検討も並行して行うべきだった。難航が予想されるため、早急な対応を

3. 主要地方道比内大葛鹿角線の整備促進について

- (1) 2年のブランクを反省し、今後どのような運動を展開していくのか
- (2) 県の廃止・撤去を検討する路線名に上げられているが、どのように払拭していくのか

1. 副市長人事について

- ・ 副市長が任期途中の9月末で退職することについて、退職に至った経緯や市長の判断について伺う。また、今後の執行体制と後任人事について伺う

2. モビリティ人材・組織育成事業について

- (1) 現在表面化している移動量だけではなく、満たされていない移動需要や今後予測される需要の変化、地域内外の移動サービスの供給能力についても把握すべきと考えるが、市長の考えは
- (2) 需給の変化を継続的に観測しながら、必要な機能を守るために、提供主体・制度・サービス形態を柔軟に組み替えていける仕組みを構築すべきと考えるが、市長の考えは

○ 花 田 強 議員 （市 民 の 風）

1. 議会閉会中に発生している専決処分の報告について

- (1) 交通事故に区分される事故が後を絶たないが、安全教育はどのようなになっているのか
- (2) 道路欠損の事故に対してどのような防止策を講じているのか

2. 熊本県で発生した地震の教訓と対策は

- (1) 防災備蓄倉庫を整備する必要があると思うが、市長の考えは
- (2) 本年7月28日に熊本県で地震が発生したが、本市には何人分・何日分の災害用備蓄品が整備されているのか

○ 佐 藤 和 幸 議員 (真 政 会)

1. 人と物が行き交う大館の「道筋づくり」について

(1) 地域と人をつなぐ自治体の広域連携について

(2) 物と産業をつなぐ政策的ビジョンとインランドデポについて

2. 地域・人流・物流・防災をつなぐ「道づくり」について

・ 大館橋と主要地方道比内大葛鹿角線について

○ 相 馬 エミ子 議員 (市民の風)

1. テレビ共同受信施設への支援について

2. 独り暮らしの高齢者への支援について

(1) 独り暮らしの高齢者の現状調査について

(2) 独り暮らしの高齢者に対する支援について

3. ひきこもり支援について

(1) 精神障害者保健福祉手帳交付者の現状は

(2) ひきこもり問題で苦しんでいる人たちへのメッセージと御所見を伺う

○ 伊 藤 励 議員 （市 民 の 風）

1. ラーケーション制度の導入について

- ・ 令和7年3月定例会でもラーケーション制度の導入について取り上げたが、その後、全国各地で導入の機運が高まってきている。まずは市内の小・中学生の保護者を対象にアンケートを実施し、制度のニーズや利用意向を調査してはどうか

2. 小さなサイズの指定ごみ袋の導入について

- ・ 高齢化や単身世帯の増加に伴い、ごみの排出量が少ない世帯が増えている。市民の利便性向上とごみ出しの負担軽減の観点から、本市においてもより小さなサイズの指定ごみ袋を導入してはどうか

○ 田 村 儀 光 議員 （真 政 会）

1. 経歴詐称疑惑について

- ・ これまでの答弁に変更はあるか

2. 副市長の退職について

- (1) なぜ今なのか
- (2) 今定例会に新人事案件の提出はあるのか。また、人材の当てはあるのか

3. 政治姿勢について

- (1) 在任2年を振り返って
- (2) 7月の定例記者会見について
- (3) 行政報告にあった若い世代との対話について、その成果や手応えはどうであったか

4. 田代地域の事業について

- (1) 田代地域がモデルとなったモビリティ人材・組織育成事業について
- (2) 野遊びSDGs事業の現状と今後について
- (3) 市道岩瀬線の進捗状況は
- (4) 田代地域のイベントについて

○ 伊 藤 深 雪 議員 (公 明 党)

1. 無痛MRI乳がん検診の受診に助成制度を

- ・ 検診を受けたいがマンモグラフィーの痛みや羞恥心から受診をちゅうちょする人の選択肢を広げるために、無痛MRI乳がん検診の受診費用の一部を助成すべき

2. ハチ公の御当地検定で地域の観光振興を

- ・ 初級はWebで、上級は現地スポット巡りで大館に来ていただくことで、交流促進につながる。合格者の特典で周遊や消費につなげることができるハチ公に特化した御当地検定の導入をするべき

○ 菅 原 喜 博 議員 （令 和 会）

1. 自主防災組織における防災訓練等の強化について

- ・ 自主防災組織の果たす役割の周知徹底と平時における防災訓練等の実施率向上に向け、実効性のある対策を講ずるべき

2. 介護人材の確保に向けた本市の取組について

- (1) 第9期介護保険事業計画における人材確保対策の成果と課題をどのように捉えているのか
- (2) 介護ロボットやICT機器等の導入状況は。また、今後どのような支援に取り組むのか

○ 石 垣 博 隆 議員 （真 政 会）

1. 農業・農村の未来について

- ・ 市長は農業・農村の未来をどう捉え政策を進めようとしているのか

2. 中山間地域等直接支払交付金の活用について

- (1) 大館市の現状認識は
- (2) 中山間等の対象を広げられないか
- (3) 対象地域を拡大し、集落単位から地域全体で農地を守る仕組みへ転換できないか
- (4) 「農地を守る」から「農地で稼ぐ」という視点は